

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
1	静岡人権フォーラム	185,850
<p>「ワークショップで考える人権」講座 健やかに生きていきたい人に危害を加えたり、その権利を奪ってしまう社会現象が後を絶たない。このことに歯止めをかけるもっとも良い方法は、お互いの人権を尊重することであるが、その学びの場が無いので「人権」に気づかず、機能していない。それによって、人権を自分には関係のないもの、難しいものと考え、人権を侵したり、犯された時に初めて人権を意識し、気づく傾向がある。健やかな地域社会を築くキーワードが、人権を正しく理解し、人権尊重の心を育むことである。行政・教育機関とともに、家庭・地域に人権啓発をし、人権意識の環境づくりを私達は目指しており企画しました。</p>		
2	玉川学区健全育成会	249,999
<p>住んでよし・訪れてよしの玉川にしよう 現在、中山間地では少子高齢化が進み、限界集落に入る集落も少なくありません。玉川地区も同様の問題を抱えています。しかしこのような問題を住民だけで解決することは困難です。住民が高齢化し、地域活動への参加が鈍くなっているからです。次世代の地域を担うのは子どもたちです。子どもを主体として、地域、学校、PTA、NPOそして「まち」の人たちが参加する枠組みをつくることから中山間地の活性化はスタートすべきだと考えました。これらの人々が企画に参加し、子どもたちが主役となって「まち」の人たちにふるさと玉川を紹介し、玉川ツアーのコーディネイトをする。このことは、子どもたちや地域住民の郷土愛を高めると共に、新たな絆をつくることになるでしょう。また、「まち」の人にとってみれば、市街地からわずか40分程度のところに愛すべき文化や自然をもった美しい地域が存在することを人との交流から知ることになるでしょう。</p>		
3	自由部門：STCCA・地球温暖化防止を考える会	249,900
<p>家庭ゴミ減量から始まるSTOP温暖化 地球温暖化防止活動は、静岡市・民間企業に於いて積極的に取り組まれておりますが、一般家庭では最も簡単にできる地球温暖化対策、ゴミ減量化は盛り上がりを欠いている部分があります。本会はH21年度家庭焼却ゴミの中の雑誌減少施策として、幼稚園児を含めた環境美化の標語募集とゴミステーションに標語カンバン設置に取り組み、住民のゴミ分別意識の向上により、家庭ゴミの削減ができたという手応えを感じたところです。今回の提案は昨年実施した内容にプラスし、4町内会にお住まいの20名の方に協力していただき、仮想「ゴミ有料化」体験を計画、内容はゴミの重さを測りお金に換算、家計から感じ取って頂き、市民自らの知恵と行動でゴミ削減ができる習慣化を勧める行動であります。又、市民と環境意識の高揚として、環境施設勉強会・学習会を開き、よりすばらしい町創りを目指すボランティアからの提案です。</p>		
4	海辺工房ひとで	249,375
<p>博物館を活用した子育て支援事業 「子どもには小さな時から色々なことを見せたり、聞かせたりしたい」というのは多くの親が思っていることです。しかしそうは思っても、子どもがまだ未就園前の小さいうちは出かけて行く場所や時間が限られるため頻繁に出かけることは難しい上に、子育て中の親は外部からの情報を得る機会が少ないために家庭内でもできることも限られています。その結果、特に平日においては、子どもとの過ごし方がワンパターンになってしまうというのが実情です。これを解消するために本事業では、市内にある博物館に呼びかけ、館が有する人材・資料・空間等を活用しつつ、それら施設が未就園前の小さな子どもとその親が気軽に訪問でき、楽しみながら学び過ごせる居場所や、過ごし方のアイデアを提供するという、広い意味での「子育て支援事業」を行います。</p>		

	団体名	金額
提 案 の 概 要		
6	みらい市民会議	250,000
<p>子どものための静岡市自治基本条例 講演会事業</p> <p>静岡市自治基本条例は、静岡市の憲法と言われる条例です。内容は、自立した市民による主体的なまちづくり（市民自治）の確立を目的とするものであり、地域主権が時の政権の1丁目1番地といわれる今日において、時節を良くとらえた市民として誇るべき条例です。しかし、平成19年度の市民調査では、内容をよく知っている市民はわずか1.3%との結果があります。まず市民が知ることと、理念を共有することが、今、求められていると思われます。一方で、静岡市自治基本条例は、理念の規定が多く、一般的な説明会やパンフレットの作成では、注目を集めにくい事情もあり、行政が主体となった広報には自ずと限界があるのも当然です。多様な市民がいる中で、子どもや教育者に焦点をしばり、重点的に話題づくりをすることで、効果的に、多くの市民に条例の内容を理解してもらおうという事業内容となっています。</p>		
7	しずおか子育てフェスタ	249,816
<p>生まれる前からの子育て</p> <p>核家族・少子化が進む一方で根本的な解決「子育てしやすい社会作り」という視点で見た場合これから第1子目を出産する妊婦の不安は大きく、地域でのサポート・情報交換・人と人との繋がりが十分にできていない現状である。静岡市内だけでも産前産後鬱の母親数は増加の一途を辿っており（静岡市健康づくり推進課談 人数は現在非公開）大きな問題となっている。産前から産後まで長期間にわたって継続的なサポートをすることが大切であるのに対し、第1子目産前からの子育て支援を考えたイベントや講座が皆無であるため、このような現状になってしまっていると考えている。赤ちゃんとの新生活のスタートをスムーズで楽しいものにし、イベントに参加した同じ数週の妊婦との交流は出産後子育ての仲間となり母親の孤立化を防ぐ。</p>		